

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－16

学校名・団体名	石巻教育研究会音楽研究会
HPアドレス	なし
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	宮城県教育研究大会 「つながろう音楽で広げよう感動を」
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>東日本大震災における県内最大の被災地である石巻地区（石巻市，東松島市，女川町）の遊楽館を会場に、「つながろう音楽で 広げよう感動を（思いや願いを伝え合い深め合う授業を目指して）」を大会主題とし，地区内の小・中学校の音楽の研究授業の発表，小・中学校や地域との関わりの中での研究演奏の発表，音楽教育に関する講演会の実施を内容とする研究大会「宮城県音楽教育研究大会石巻大会」を開催するものです。本研究大会は音楽研究会会員のみならず，石巻地区の音楽教育の復興をより推進し，さらに宮城県全体の音楽教育の振興を目指しています。</p>	

活動の内容

- 1 公開授業Ⅰ 9:30~10:20
 - ・石巻市立山下小学校6年 石巻市立大街道小学校5年 石巻市立河南東中学校2年各1学級の児童・生徒と指導者が会場に集合しそれぞれの音楽の授業を公開しました。
- 2 公開授業Ⅱ 10:30~11:20
 - ・東松島市立矢本東小学校2年 女川町立女川中学校1年各学級の児童・生徒と指導者が会場に集合しそれぞれの音楽の授業を公開しました。
- 3 分科会 11:35~12:20
 - ・公開授業を基に音楽教育に関する協議を下記の5分科会(小3, 中2)で実施し, これまでの実践からの授業について話し合いをし, 指導助言者から指導をいただきました。

学年	題 材	授 業 者	指導助言者
小学校2年	いろいろな音を楽しもう (表現)	東松島市立矢本東小学校 三好智香子	仙台市教育センター 指導主事 小野寺 淳
小学校5年	曲想を味わおう(表現)	石巻市立山下小学校 中村みゆき	登米市立北方小学校 校長 阿部 直子
小学校6年	曲想を味わおう(鑑賞)	石巻市立大街道小学校 遠藤 真樹	亘理町立高屋小学校 校長 村上 春江
中学校2年	オペラに親しみ, 音楽を味わおう (鑑賞)	石巻市立河南東中学校 島田 裕香	登米市立東和中学校 校長 牛渡 正哉
中学校1年	詩や曲の雰囲気を感じ取り, 言葉 を大切に歌おう(表現)	女川町立女川中学校 小野寺 恵	宮城県総合教育センター 指導主事 目黒 恵子

◇ 昼食・休憩「サロンコンサート(パイプオルガンによる演奏)」 12:20~13:20

- 4 記念講演 13:20~14:20
 - ・東京芸術大学の佐野靖教授記念講演 演題「これからの音楽教育を考える」
- 5 全体会 及び 研究演奏 14:30~15:30

全体会は, 開会行事から始まり, 研究演奏は小・中学校の児童・生徒を中心に, 石巻市立門脇中学校、石巻小学校をはじめ、5校総勢約200名が「絆ふるさと石巻」をテーマにした演奏を実施し、すばらしい歌声や合奏を披露することができました。また、山下先生の、三味線は、佐野先生の話とリンクしており、演奏も大好評でした。最後に全員合唱 文部省唱歌である「ふるさと」を研究演奏団体の伴奏や演奏と一緒に参加者全員合唱で、被災地からの復興を共有することができました。感動的な全体会であったと思います。

活動の方法

実行委員会を組織し、大会運営部、授業研究部、研究演奏部、理論研究部の4つの部ごとに研究を進め、大会当日成果を公開しました。

- 1, 大会運営部
 - ・当日の大会全体を総括し, それまでの生徒の輸送, 会場の設営, 宮城県全体への案内, 会場における小・中学校の音楽の研究授業の発表, 研究演奏の発表, 音楽教育に関する講演会の実施等研究大会を進める中心となる部です。
- 2, 授業研究部
 - ・5つの学校における授業研究の進め方を決定し, 指導案の内容や検討を進める中心となる部であり, 各学校での事前授業研究会を開催し, 授業レベルの向上を目指しました。研究の方向性を授業に生かすために各学校と連携しながら進めることができました
- 3, 研究演奏部
 - ・大会のメインと児童・生徒による演奏を進める部であり, 曲の選定から舞台の構成, 各学校の演奏を指導等, 音楽研究会らしい児童生徒の震災からの頑張りを地域の復興と共に宮城県全体に発信できるような音楽を発表したいと考え進めました。前日のステージリハーサルから緊張感の中で、感動の高い演奏になりました。
- 4, 理論研究部
 - ・つながろう音楽で, 広げよう感動をを大会主題に, 思いや願いを伝え合い深め合う授業を目指してというサブテーマのもと進めるこの研究会に向けて2年間取り組んできた成果を, まとめることができました。

研究成果

「つながろう音楽で 広げよう感動を(思いや願いを伝え合い深め合う授業を目指して)」の大会主題のもとに授業を公開する5校の学校を中心として授業研究を進めていくことにより石巻地区の音楽の授業力の向上が図られ、児童・生徒へ音楽教育を通して豊かな情操がはぐくまれました。また、大学の先生の指導を直接いただくことにより音楽教育の現状を知ると共に先生方の意欲も高めることができ、県内の音楽教育のレベルの向上や振興にもつなげることができたと考えております。

東日本大震災から4年が過ぎましたが、まだ仮設校舎で授業をしている学校も見られ復興はまだこれからという状況です。この研究大会は震災後初めての音楽の石巻大会であり、研究演奏を中心とする「絆ふるさと石巻」をテーマにした合唱や器楽の演奏を通して、大きな被災地石巻地区の復興を推進し児童生徒の頑張りを宮城県そして全国へ発信することもできたと思っております。ちゅうでん研究助成に感謝申し上げます。